JICAイベントカレンダー2019 AUGUST-SEPTEMBER

JICAエッセイコンテスト

募集期間

6月7日(金)～9月11日(水)

国際協力への思いをつづった中高生のエッセイ募集中!

長い歴史があり、毎年開催されている中高生を対象としたエッセイコンテストで、今年の募集テーマは「よりよい世界の未来を目指して～私たちから始まる一歩～」。上位入賞者には、途上国の現場を視察する約1週間の海外研修の機会や、フェアトレード商品等が贈られる。

コンテストについて詳細はp.39へ

●JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2019
募集期間：2019年6月7日（金）～9月11日（水）当日消印有効

個人、学校単位の応募も可。
詳細はJICA地球ひろばのウェブサイトまで。

＼詳細はこちら／

JICA横浜

8月2日(金)～12月1日(日)

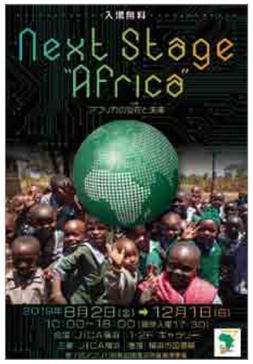
TICAD7開催地で知るアフリカの世界

8月28日から横浜で第7回アフリカ開発会議（TICAD7）が開かれる。JICA横浜では第1回から6回までを振り返り、その成果やアフリカと日本の関わりを写真や映像で紹介するほか、イノベーションで急成長するアフリカの様子も紹介する。また8月24日には、アフリカ音楽の演奏会や、民族衣装の紹介、絵本の読み聞かせなどのイベントを予定している。

●Next Stage "Africa" ―アフリカの現在(いま)と未来―
（第7回アフリカ開発会議横浜開催連携事業）
会期：2019年8月2日（金）～12月1日（日）
10:00～18:00
会場：JICA横浜 1、2階ギャラリースペース
神奈川県横浜市中区新港2-3-1

入場無料、事前申し込み不要。
詳細はJICA横浜まで。

＼詳細はこちら／



あわせてこちらも!!

コーヒーと日本人移民の関わり

日本におけるコーヒーの普及は、海外に渡った日本人移民と密接な関係がある。海外移住資料館では、ブラジルやハワイのコーヒーと日本人移民の関わりや、彼らがコーヒー普及に果たした貢献をパネルで紹介。また9月1日には特別講座として、明治時代末期から続く銀座の老舗喫茶店「カフェーパウリスタ」社長の長谷川勝彦さんを講師に招き、日本のコーヒー文化と歴史を語ってもらう。

●企画展示「コーヒーが結んだ日系人と日本」
会期：2019年6月29日（土）～10月6日(日)
10:00～18:00
会場：JICA横浜 海外移住資料館
神奈川県横浜市中区
新港2-3-1

入場無料、事前申し込み不要。
詳細はJICA横浜まで。

＼詳細はこちら／

人チオシ! 本と映画の新着情報

BOOK 『すべては救済のために デニ・ムクウェゲ自伝』

アフリカのコンゴ民主共和国の東部では、武装勢力などが地域住民を支配するための〝武器〟として性的暴力が横行し、幼児から年配者までの女性が襲われている。耳を塞ぎたくなる凄惨な性的暴力の被害女性たちは、心身を壊されるだけではなく、けがれた者として家や社会から追い出され、病院にたどり着けるのはごく一部だけだという。

本書は、この地で約4万人以上もの被害女性の治療にあたってきた産婦人科医師のムクウェゲさんの自伝。彼は治療だけではなく、時には自らが危険な目に遭いながらも命をかけて性的暴力撲滅と女性の地位向上を国際社会に訴え続け、昨年ノーベル平和賞を受賞した。

本書を通じてコンゴ民主共和国の実態をより多くの人が知り、支援の輪がいっそう広がることを願う。

デニ・ムクウェゲ 著、加藤かおり 訳、あすなろ書房 1600円（税別）

読者プレゼント 詳細はp.38へ

なごや地球ひろば（JICA中部）

7月10日(水)～11月10日(日)

アートを通してアフリカを知ろう

なごや地球ひろばでは第7回アフリカ開発会議（TICAD7）に合わせて、パネル展を開催している。アフリカ各国の人々の暮らしや、豊かな自然、動物や鳥などを色鮮やかに描いたアフリカ現代アートを紹介。また、JICAがアフリカで展開する事業の写真パネルや、世界各国と日本の子どもたちが世界に訴えたいメッセージを込めて共同制作した巨大絵画も展示している。

●パネル展「はずむ! カラフルアフリカ展」
会期：2019年7月10日（水）～11月10日（日）10:00～18:00
休館日：月曜日
（祝日の場合は開館し、翌日休館）
会期：なごや地球ひろば（JICA中部）
愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-7

入場無料、事前申し込み不要。
詳細はなごや地球ひろば（JICA中部）まで。

＼詳細はこちら／

JICA筑波

7月22日(月)～8月30日(金)

夏休みイベント開催中

夏休み期間中に、展示やイベントを見学・体験していくスタンプラリー「つくばちびっ子博士」をつくば市とつくば市教育委員会が主催する。JICA筑波も会場となり、特別展示を開催。期間中は「知ろうアフリカ展」や「洋服からたどる途上国展」の展示をはじめ、民族衣装の試着体験や民族楽器の演奏などを行う。JICA筑波内のレストランではアジア、中東、アフリカ、南米など世界各国の料理を楽しむこともできる。

●つくばちびっ子博士2019
会期：2019年7月22日（月）～
8月30日（金）10:00～17:00
会場：JICA筑波
茨城県つくば市高野台3-6

入場無料、事前申し込み不要。
詳細はJICA筑波まで。

＼詳細はこちら／

昨年のイベントの模様。

JICA北海道（札幌）

8月31日(土)

遊んで学ぶ世界の文化

昨年のイベントの模様。

地域の人びとと世界各国から来たJICA研修員や留学生を結ぶ、国際交流イベントを開催する。研修員と交流するゲームやクイズのほか、NGOの活動内容を紹介するコーナー、フェアトレード商品の販売などたくさんの企画が用意されている。中庭のステージでは、それぞれの国の伝統舞踊や弾き語りなどさまざまなパフォーマンスが行われ、子どもから大人まで楽しめる内容となっている。

●世界ふれあいひろば2019
～観て食べて交流して、世界のとびらを開こう!～
日時：2019年8月31日（土）10:00～15:00
会場：JICA北海道（札幌）
札幌国際交流館（リフレサッポロ）
北海道札幌市白石区
本通16丁目南4-25

入場無料、事前申し込み不要、
途中退出可。
詳細はJICA北海道（札幌）まで。

＼詳細はこちら／

MOVIE 『風をつかまえた少年』

2001年に大きな干ばつが襲ったアフリカ最貧国のひとつ、マラウイが舞台。14歳の少年ウィリアムは、貧困のため学費を払えず学校に通うことを断念せざるを得なくなる。そんな中、図書館で1冊の本に出合い、風力発電のできる風車で乾いた畑に水を引くことを思いつく。

村にはいまだに祈りで雨を降らせようとする信仰が根強く残る。廃品を使い独学で風車を作るという彼の行動には、父親でさえ理解を示そうとしない。それでも家族を助けたいという彼のまっすぐな思いが、徐々に周りの人びとを動かし始める。

ウィリアムのこの実体験をもとにつづった書籍『風をつかまえた少年』（文藝春秋刊）は、世界23か国で翻訳されベストセラーとなっている。過酷な環境にあっても、学ぶことで力を得て未来を切り開いていった少年の物語。

2018年／イギリス、マラウイ／113分／ロングライド
監督・脚本・出演：キウェテル・イジョフォー
8月2日（金）よりヒューマントラストシネマ有楽町、新宿武蔵野館ほか全国で順次公開。

© 2018 BOY WHO LTD / BRITISH BROADCASTING CORPORATION / THE BRITISH FILM INSTITUTE / PARTICIPANT MEDIA, LLC